



連帯と排除に揺れるドイツ社会



German Society in Struggle between Solidarity and Exclusion

日時 : 2019年10月21日 (月) 14:00- 15:30

Date & Time : Monday, October 21st, 2019. 14:00-15:30

**場所 : 大阪大学人間科学研究科
ラーニングコモンズ (北館2階)**

Place : Learning Commons Room (North Building 2F)
Graduate School of Human Sciences, Osaka University

講演者 (speaker)



島田 信吾 教授

(デュッセルドルフ大学現代日本研究科)

Prof. Dr. Shingo Shimada

(Heinrich Heine University of Düsseldorf)

ドイツ社会は、ヨーロッパで深刻化する難民問題、高齢者人口の増加に伴う社会保障の問題などを抱え、その危機的状況も指摘されています。
在ドイツ40年の島田信吾先生に、日独の両国を知る社会学者の視点から、「連帯」と「排除」を切り口に議論していただきます。
(講演は日本語です)

大阪大学人間科学研究科 齊藤弥生研究室

Yayoi Saito, Graduate School of Human Sciences, Osaka University

※大阪大学国際共同研究促進プログラム (タイプA) 「超高齢社会と国際移民の時代における「ケア」と「社会」と「テクノロジー」のよりよい関係づくりに向けた国際共同研究」の一環で実施しています

This seminar is held as part of Osaka University's International Joint Research Promotion Program (Type A), "International Joint Research of Social Science for Leading Successful Collaboration among "Caring", "Diversity" and "Technology" in the Super-Aging Society".

問い合わせ先 : 吉岡洋子 (国際共同研究促進プログラム担当、特任准教授 / 齊藤弥生研究室)
内線4051 Email: yoshioka45@hus.osaka-u.ac.jp